



萱中だより

《校訓》 礼儀 自主 勤労 協同

三笠市立萱野中学校 校長 小松明美

三笠市萱野192番地 TEL 2-2308

平成27年 9月 8日発行【特別号】

「全国学力学習状況調査」の結果について

4月21日に全国の中学校3年生を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果が報告されました。全国や全道の結果については報道機関を通じ公表されましたのでご存じのことと思います。この紙面におきましては、本校の3年生の結果の概略をお知らせいたします。

今年度の学力調査は、例年の国語と数学に理科が加わっています。しかし、3教科に限定されているだけではなく、その測られている学力の分野も下記に示すとおり限定されています。したがって全体の学力を測るものとなってはおりませんが、子どもの学力の状況を知る客観的な資料として分析し、今後の指導に役立てていきたいと考えています。

今回の結果では、国語・数学の「主として知識（A問題）」、「主として活用（B問題）」、理科の実施した全教科で全国平均を上回る結果となりました。

【学力調査から】

◎言語に関する基礎的知識・技能をみる「国語A」

全体としての結果は全国平均正答率よりやや高い結果となっています。国語科の領域ごとの全国平均正答率との比較については次の通りです。

「話すこと・聞くこと」…やや低い 「書くこと」…低い

「読むこと」…やや高い

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」…高い

【正答率が全国に比べ特に高かった（正答率100%）設問の出題趣旨】

- 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する。
- 文章から適切な情報を得て、考えをまとめる。
- 表現の特徴を捉える。
- 文脈に即して漢字を正しく書く（ビョウソク・シュクシャク）
- 文脈に即して漢字を正しく読む（載る）
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（将来は気象予報士になりたい・私が先生のお宅に参ります）
- 毛筆を用いて、楷書で文字を書く。
- 漫画の内容を参考にして、登場人物の思いやものの見方を想像する。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える
- 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（たなびく雲の間から、春の光がもれている）

◎知識・技能を活用する力をみる「国語B」

全体としての結果は全国平均正答率よりかなり高い結果となっています。国語科の全領域で全国の平均正答率を上回りました。

「話す・聞くこと」…やや高い 「書くこと」…かなり高い
「読むこと」…かなり高い

【正答率が全国に比べ特に高かった（正答率100%）の設問の出題趣旨】

- 効果的な資料を作成し、活用して話す。
- 目的に応じて文章を要約する。
- 表現の工夫について自分の考えをもつ。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く。
- 文章の構成や展開を踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く。

◎数量や図形についての基礎的知識・技能をみる「数学A」

全体としての結果は全国平均正答率をやや上回っていますが、数学の領域「図形」と「関数」についてはわずかに全国平均正答率を下回る結果となっています。

「数と式」…やや高い 「図形」……やや低い
「関数」…やや低い 「資料の活用」…かなり高い

【正答率が全国に比べ特に高かった（正答率100%）設問の出題趣旨】

- 比の意味を理解している。
- 同位角の意味を理解している。
- ひし形の「対角線は垂直に交わる」という性質を、記号を用いた表現から読み取ることができる。
- 与えられた資料の度数分布表について、ある階級の度数を求めることができる。
- 起こり得る場合を順序よく整理し、場合の数を求めることができる。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 数量の関係を文字式に表すことができる。
- 空間における直線と平面の垂直について理解している。
- 与えられた式を用いて体積を求めることができる立体を理解している。
- 多角形の内角の和の性質を理解している。

- 作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している。
- 時間と道のりの関係を表すグラフについて、グラフの傾きが速さを表すことを理解している。

◎知識・技能を活用する力をみる「数学B」

全体としての結果は全国平均正答率より高い結果となっています。また、数学の全領域で全国の平均正答率を上回っています。

「数と式」…かなり高い 「図形」……わずかに高い
 「関数」…高い 「資料の活用」…かなり高い

【正答率が全国に比べ特に高かった（正答率100%）設問の出題趣旨】

○発展的に考え、予想した事柄を説明することができる。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる。
- 事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる。
- 平面図形や空間図形を関連づけて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることができる。
- 図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することができる。

◎「理科」

全体としての結果は全国平均正答率よりかなり高い結果となっています。理科の全領域で全国の平均正答率を上回りました。

「思考・表現」…高い 「観察実験の技能」…かなり高い
 「知識・理解」…かなり高い

【正答率が全国に比べ特に高かった（正答率100%）設問の出題趣旨】

- 天気記号から風力を読み取ることができる。
- デンプンが消化酵素によって分解されて、最終的にできる物質の名称を表すことができる。
- 実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘することができる。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることができる。
- 実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる。
- 他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明することができる。
- 他者の考えた実験の方法を検討して改善し、適切な方法を説明することができる。

- 日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる。

【生活面に関する調査から】

【本校の長所となる生徒の実態】

- 朝食、起床時刻など、基本的な生活習慣は概ね良好である。
- 学校の規則を守っている。
- 学級会などの時間に友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めている。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- 自分には良いところがあると思う生徒が増えてきた。
- 家で学校の宿題をしている。
- 普段（月～金曜日）の家庭学習時間は全体的に増加傾向にある。
- 家で、自分で計画を立てて勉強する生徒は大幅に増加してきた。
- 普段（月～金曜日）、1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間は個人差があるが全体としてはあまり長くない。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。

【課題となる生徒の実態】

- 就寝時間が一定していない生徒が多い傾向にある。
- 難しいことに失敗を恐れず挑戦することがやや苦手である。
- 将来の夢や目標を持っているという回答が減少した。
- 休日ともに家庭学習時間は多い生徒と少ない生徒で二極化してきた。
- 普段の日のテレビ・ビデオ・DVDにかける時間が長い傾向がある。
- 普段、読書をするのが少ない。
- どちらかという学校に行くことが楽しいと思わない生徒が増加した。
- ニュース番組は見ているが、新聞はあまり読まない傾向がある。
- 人の気持ちがわかる人間になりたいという回答が減少した。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはあまりない。

今回の学力調査、生活面に関する調査から本校の3年生の長所や課題が見えてきました。今後学校では、長所はさらに伸ばし、課題については、改善の方向に向かうよう、教科指導、学級経営、生徒指導等を見直し、家庭との連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。今後ともご協力を宜しくお願い致します。尚、個人の結果につきましては、保護者宛に配布いたしますので、各家庭でお子さんをご確認ください。